

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のDXを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	①県内情報通信関連産業と他産業連携による新たなビジネスモデルの創出
			施策の小項目名	○情報通信関連産業と他産業との連携・共創
主な取組	付加価値の高いICTビジネスへの支援		対応する成果指標	情報通信産業における従業者1人当たりの売上額
施策の方向	・情報通信関連事業者と他産業との連携・共創を促すため、沖縄IT イノベーション戦略センターにおける企業支援機能の強化を促進するとともに、AI、IoT、ビッグデータ等の先端ICT技術の導入による情報通信関連事業者の技術の高度化や付加価値の高いICTビジネス、データサイエンスに基づくビジネス展開に取り組む県内企業への支援の強化に取り組めます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
情報通信産業の稼ぐ力を強化するため、県内IT事業者が実施する高付加価値なITビジネスの開発や、ほかの産業のDXに資するデジタル技術の開発・実証等を支援することにより、産業の高度化を図る。	県	IT事業者の新たな取り組み等への展開を促進		
		ICTビジネス支援件数(累計)		
		20件	22件(42件)	22件(64件)
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			ICTビジネス高度化支援事業			予算事業名		ICTビジネス高度化支援事業	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
一括交付金 (ソフト)		補助		204,359	217,360	主な財源		実施方法	当初予算額
						一括交付金 (ソフト)		補助	204,477
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
令和4年度の実績を踏まえ、ステージごとの採択件数について見直しを行った上で、合計22件支援した。						令和5年度の実績と今年度予算額を踏まえ、ステージごとの採択件数について見直しを行った上で、合計20件の支援を予定している。			

活動指標名		ICTビジネス支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	22件	22件	22件（42件）	100.0%	順調	IT事業者の取組の段階に応じた3つのステージ（ビジネスモデル構築ステージ、技術高度化ステージ、事業化ステージ）を設け、合計22件を支援した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

ビジネスの段階に応じた支援の実施により、高付加価値化を実現し、産業の高度化につなげることができ、成果指標の達成に寄与した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 支援前に実施する事前相談において、取組の規模や企業が有する技術力を踏まえ、ほかの企業との連携が可能か検討し必要が認められる取組については、関連企業・団体の紹介等により連携を促進する。	事前相談の際に、企業の取組内容に応じてコンソーシアム等の企業連携の提案等を行うことで、より効果的な事業実施につなげた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	・ 県内企業の商品、サービスをより高付加価値化するために、県内の企業やユーザーを対象とした取組のみではなく、県外や国外の販路を拡大する取組について、掘り起こしを強化する必要がある。	② 連携の強化・改善	・ 企業との事前相談において、県外で展開が見込まれる取組に関しては、県外事務所等と連携し、県外企業等との協働の可能性を確認する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のDXを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	①県内情報通信関連産業と他産業連携による新たなビジネスモデルの創出
			施策の小項目名	○デジタルによるオープンイノベーションの促進
主な取組	デジタルによるオープンイノベーションの促進		対応する成果指標	情報通信産業における従業者1人当たりの売上額
施策の方向	・各産業が抱える課題や社会課題の解決につながる新たなビジネスを創出するため、他産業事業者とIT事業者とのマッチングにより課題の共有や共創による取組を支援するほか、デジタルによるオープンイノベーションを促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
デジタルによるオープンイノベーションを促進するため、IT産業と他産業のアイデアの融合を図るハッカソンを開催する。	県,事業者等	IT産業と他産業等によるワークショップ（ハッカソン）の開催		
		ワークショップ（ハッカソン）開催件数（累計）		
		5件	5件（10件）	5件（15件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			沖縄型オープンイノベーション創出促進事業			予算事業名		オープンイノベーション創出支援事業	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度			
一括交付金 (ソフト)		委託		36,021の一部	42,597の一部	主な財源		実施方法	当初予算額
						一括交付金 (ソフト)		委託	34,982の一部
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
I T産業と他産業からさまざまな参加者を集め、アイデアの融合を図るハッカソンを開催した。						I T産業と他産業からさまざまな参加者を集め、アイデアの融合を図るハッカソンを開催する。			

活動指標名		ワークショップ（ハッカソン）開催件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	5件	5件	6件	5件（10件）	100.0%	順調	I T産業と他産業等からさまざまな参加者を集め、イノベーションの創出に向けたハッカソンを6件開催した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和5年度のハッカソンの開催件数は、開催件数の目標を達成したことから、順調に進捗していると判定した。ハッカソンの実施により、情報通信産業の高度化につながるI Tを活用したさまざまなビジネス・サービスの創出が促進された。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○進捗遅れの原因となった運営側のフォロー体制および開催方法の見直しおよび変更を行う。	ハッカソンの運営経験が豊富な事業者運営の一部委託することでフォロー体制の強化を図った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	ハッカソンイベントの参加者について、高専の学生がメインとなり、大学生や社会人の参加者が少なかった。	⑤ 情報発信等の強化・改善	関係機関と連携した情報発信に取組み、多様な参加者によるオープンイノベーションを促進する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のＤＸを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	①県内情報通信関連産業と他産業連携による新たなビジネスモデルの創出
			施策の小項目名	〇ビジネスマッチングの場の創出
主な取組	ＩＴ見本市の開催支援（商談機会の創出）		対応する成果指標	情報通信産業における従業者１人当たりの売上額
施策の方向	・ＩＴ見本市の開催を支援することにより、情報通信関連産業と他産業のビジネスマッチングの場を創出し、県内産業のＤＸ促進を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
IT見本市の開催支援により情報通信関連産業と各産業とのビジネス交流機会を創出し、併せてWEBサイトにてDXに資する事例等の情報が容易に入手できる環境を整えることにより、県内全産業のDX促進を図る。	県,事業者	IT見本市の開催支援により、県内情報通信関連産業と県内外他産業のマッチングの場を創出		
		商談成約・見込率		
		8%	8%	8%
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	https://resortech-expo.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	ResorTech Okinawa推進事業				予算事業名	ResorTech Okinawa推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	
一括交付金 (ソフト)	負担	64,011	52,900		一括交付金 (ソフト)	負担	47,597
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
I T見本市の開催支援によりビジネス交流機会を創出するとともに、D Xに関する事例等の情報をW E Bサイトに集約し県内企業へ発信した。					引き続き、I T見本市の開催支援によりビジネス交流機会を創出するとともに、D Xに関する事例等の情報をW E Bサイトに集約し県内企業へ発信する。		

活動指標名	商談成約・見込率		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
	3.9%	10.3%	6.9%	8%	86.2%	概ね順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
商談成約・成約見込件数は232件で過去最高となったが、商談成約率は6.9%で目標未達成となった。要因としては、継続開催により展示会としての認知度や集客効果が高まったことで、商談成約のみならず企業のPRを目的とした出展が増加し、商談総数の増加が成約件数の増加を上回ったことから、結果として商談成約率が低下したことが考えられる。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の実施計画	反映状況
○これまでのような単年度収支計画に基づくものではなく、自走化に向けて、県負担金を段階的に削減し、民間収入で賄っていくための中期的な計画の策定に取り組む。 ○引き続き、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る。 ○海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図る。	○今後のリゾテックEXP0の目指すべき将来像を描いた基本計画を、大型MICE施設の供用開始が予定されるR11年度までの中期的な計画として策定した。 ○IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図ることができた。 ○海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図ることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	R5年度に今後のリゾテックEXP0が目指すべき将来像を描いた中期的な計画である基本計画を策定したが、収支計画については、県負担金以外の新たな収入源の検討を行っていく必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	非IT企業等のサイネージ広告の活用促進や、無料提供商品の有償化など新たな収入源の拡大に向けた取組みを支援する。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	県内の全産業のDXを進めていくため、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	IT見本市を「国際IT見本市」としてより発展させていくためには、コロナ禍において減速していた海外からの出展や来場者を増やす必要がある。	② 連携の強化・改善	海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のDXを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	②デジタル技術を活用したスタートアップやビジネスイノベーションの促進
			施策の小項目名	○新たなビジネスモデルやスタートアップに向けた取組
主な取組	先端ICTの実用化研究や新ビジネスモデル実証試験場の形成に向けた取り組みの支援		対応する成果指標	デジタル技術を活用したスタートアップ等の支援件数（累計）
施策の方向	・ PPP／PFI など民間資金を活用し、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等の新技術の実用化研究や新たなビジネスモデルの実証等が円滑に実施できる環境を整え、国内外の企業との連携による先端的な開発プロジェクトの誘致、新たなビジネスモデルやスタートアップに向けた取組を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
デジタル技術を活用したビジネスイノベーションの促進を図るため、先端ICTの実用化研究や新ビジネスモデルの実証等の取組を行う事業者に対する支援を行う。	県,事業者	実用化研究や新ビジネスモデル実証試験場の形成に向けた民間の取り組みに対するサポート		
		サポート・相談対応件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)			
予算事業名			-			予算事業名		テストベッド実証支援事業	
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額		R6年度	
—		—						当初予算額	
						一括交付金 (ハード)		補助 29,941の一部	
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画			
関係機関と連携し、本県で実証実験等を検討・計画する企業からの実証場所の確保等に関する相談に対応した。						関係機関と連携し、本県で実証実験等を検討・計画する企業からの実証場所の確保等に関する相談対応や、費用の補助を行う。			

活動指標名		サポート・相談対応件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	-件	2件	7件	3件（6件）	100.0%	順調	関係機関と連携し、本県で実証実験等を検討・計画する企業からの実証場所の確保等に関する相談に対応した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

3件の目標としていたところ、令和5年度は7件の相談を受けた。目標を大きく超えたため、順調とした。
相談内容に応じて、関係部局を交えた実現可能性の検討や、実証を希望する企業へのサポートを実施し、関係を構築した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○事業者の実証実験等のニーズに適切に対応するための相談窓口の体制強化等、実証事業に対する各種支援の充実を図る。	相談窓口を設置したほか、支援事業を開始し、年度中に補助を実施する。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	計画の段階に応じた支援を行うため、実施主体と関係機関との調整状況や実証実験の要件など、実現可能性を細かく検証する必要がある。	① 執行体制の改善	実際に申請された取組について、県がこれまで実施する補助事業の事例を参考に、実現可能性について精査する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のDXを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	②デジタル技術を活用したスタートアップやビジネスイノベーションの促進
			施策の小項目名	○新たなビジネスモデルやスタートアップに向けた取組
主な取組	新たなビジネスやスタートアップに向けた取組		対応する成果指標	デジタル技術を活用したスタートアップ等の支援件数（累計）
施策の方向	・ PPP／PFI など民間資金を活用し、AI、IoT、ビッグデータ、ロボット等の新技術の実用化研究や新たなビジネスモデルの実証等が円滑に実施できる環境を整え、国内外の企業との連携による先端的な開発プロジェクトの誘致、新たなビジネスモデルやスタートアップに向けた取組を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
デジタル技術を活用したビジネスやサービスの創出を促進するため、ITスタートアップによるビジネス化に向けた検証活動を支援する。	県,事業者等	ビジネス化に向けた検証支援（ハンズオン、起業家によるメンタリング）		
		検証支援件数（累計）		
		10件	10件（20件）	10件（30件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		沖縄型オープンイノベーション創出促進事業			予算事業名		オープンイノベーション創出支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	補助	36,021の一部	42,597の一部		一括交付金 (ソフト)	補助	34,982の一部	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
I Tスタートアップによるビジネス化検証活動への支援（補助、ハンズオン）を実施した。					オープンイノベーションの創出を促進するため、県内外の先端技術を持つ企業と県内企業等による協働・共創の取組（補助・ハンズオン等）を実施する。			

活動指標名	検証支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		I Tスタートアップによる8件のビジネス化検証活動に対し、補助やハンズオン支援を実施した。
	6件	10件	8件	10件（20件）	80.0%		
						概ね順調	

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
令和5年度のビジネス化に向けた検証支援件数は、宮古島市と石垣市でも説明会を実施して支援対象者の掘り起こしを行い、当初目標である10件の採択となったが、途中辞退が生じたことにより8件となった。進捗状況は達成割合が80%であるため概ね順調とした。補助やハンズオン支援の実施により、情報通信産業の高度化につながるITを活用したさまざまなビジネス・サービスの創出が促進された。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○検証活動の継続が困難にならないよう、支援対象者を選定する際の事前確認の徹底や、支援対象者へのハンズオン支援によるフォロー等を行う。	支援対象者を選定する際には、事前確認の徹底を行い、ハンズオン支援では、メインメンターを各採択事業者1名置くことで、より伴走型の支援を強化した。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	途中辞退に関しては、補助事業の採択前の確認・採択後のフォロー等の予防的な措置により、改善の余地がある。	⑧ その他	補助事業への応募前に実施している事前相談及び応募書類等により適切に実施できる者かを確認し、採択後も相談対応などの丁寧なフォローを徹底する。
⑦ その他(改善余地の検証等)	オープンイノベーション創出を主軸とした支援内容や方法等へ見直しを行い、より効果的なビジネス構築の促進を図る必要がある。	⑧ その他	令和5年度の支援内容や運営体制の課題を踏まえ、ビジネス構築の効果がより期待できる支援内容や方法の変更を検討する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のDXを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	②デジタル技術を活用したスタートアップやビジネスイノベーションの促進
			施策の小項目名	○国家戦略特区等の活用促進
主な取組	国家戦略特区制度等の活用に向けた事業者への支援		対応する成果指標	デジタル技術を活用したスタートアップ等の支援件数（累計）
施策の方向	・ 高度で革新的な近未来技術に関する実証実験やスタートアップビジネスを展開していく上で、法令等の規制がある場合には、国家戦略特区におけるサンドボックス制度等の活用を積極的に働きかけるなど、事業者の円滑な事業実施を促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
先端技術に関する実証実験やスタートアップビジネス等の促進を図るため、国家戦略特区制度等の活用に向けた支援を行う。	県,事業者等	ISCOと連携し、国家戦略特区等の活用促進などにより事業者の円滑な事業実施をサポート		
		サポート・相談対応件数（累計）		
		3件	3件（6件）	3件（9件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)	
予算事業名				テストベッド実証支援事業			
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額	
—		—					
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画			
国家戦略特区等の活用推進など、事業者の円滑な事業実施にむけたサポートや相談対応を実施した。				実証実験に対する相談窓口の設置と補助等による支援を実施する。			

活動指標名		サポート・相談対応件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	—	2件	7件	3件（6件）	100.0%	順調	県内外の事業者からの実証事業に対する相談対応やサポートを実施した。	

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標値3件に対して実績値7件となった。県外事業者から要望が想定より多くあったことから、県外に対しても相談窓口について広く周知し、情報収集を実施する必要がある。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 事業者からの実証事業の要望等に対する相談窓口の体制の強化や及び実証事業に係る各種支援を検討する。	実証実験の相談に関して、IT見本市や県のホームページ等で呼びかけを行うなど、広く周知を行った。また、これまで受けた相談を踏まえ、令和6年度より企業等による県内での実証実験の実施に対する支援事業を実施する予定である。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	計画の段階に応じた支援を行うため、実施主体と関係機関との調整状況や実証実験の要件など、実現可能性を細かく検証する必要がある。	① 執行体制の改善	実際に申請された取組について、県がこれまで実施する補助事業の事例を参考に、実現可能性について精査する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のＤＸを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	③県内外における市場開拓の強化
			施策の小項目名	○県内情報通信関連産業における新たなマーケットの創出
主な取組	ＩＴ見本市の開催支援（新たな顧客層への情報発信機会の創出）		対応する成果指標	国内外展示会等への出展企業数
施策の方向	・ 情報通信関連産業の振興施策や民間主体の先進的なDXの取組等についての普及啓発に取り組むとともに、IT見本市等を通じて‘リゾートテックおきなわ’のコンセプトを広く県内外に発信し、県内全産業にＤＸやデジタル分野への投資を促進することで、県内情報通信関連産業における新たなマーケットの創出を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
IT見本市の開催支援により情報通信関連産業と各産業とのビジネスマッチングの機会を創出し、併せてWEBサイトにてDXに資する事例等の情報が容易に入手できる環境を整えることにより、県内全産業のDX促進を図る。	県,事業者	IT見本市の開催支援により、県内情報通信関連産業のソリューションを県内外他産業の事業者向けに発信する場を創出		
		IT見本市への来場者数（累計）		
		10,000人	11,000人（21,000人）	12,000人（33,000人）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課【 098-866-2503 】		関連URL	https://resortech-expo.okinawa/

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		ResorTech Okinawa推進事業			予算事業名		ResorTech Okinawa推進事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
一括交付金 (ソフト)	負担	64, 011	52, 900		一括交付金 (ソフト)	負担	47, 597	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画			
I T見本市の開催支援によりビジネス交流機会を創出するとともに、D Xに関する事例等の情報をWEBサイトに集約し県内企業へ発信した。					I T見本市の開催支援によりビジネス交流機会を創出するとともに、D Xに関する事例等の情報をWEBサイトに集約し県内企業へ発信する。			

活動指標名		IT見本市への来場者数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B			
	9, 213-	13, 814人	14, 662人	11, 000人 (21, 000人)	100. 0%	順調		
								情報通信関連産業と各産業とのビジネス交流の機会を創出を図り、11, 000人の来場者目標を達成できるよう、I T見本市の開催支援を行う。

様式1（主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
運営に係る負担金拠出や、実行委員会幹事として運営事務局との調整・アドバイス等の支援をし、IT見本市の開催を実現し、目標を大きく上回る14,662人の来場者を達成することができた。 各産業側がIT企業から課題解決の提案を受ける逆商談ブースを設ける等の取組により、ビジネスマッチングの場を創出し商談成約率の向上につなげた。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○これまでのような単年度収支計画に基づくものではなく、自走化に向けて、県負担金を段階的に削減し、民間収入で賄っていくための中期的な計画の策定に取り組む。 ○引き続き、IT見本市の開催内容の充実やWEBサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る。 ○海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図る。	○今後のリゾテックEXP0の目指すべき将来像を描いた基本計画を、大型MICE施設の供用開始が予定されるR11年度までの中期的な計画として策定した。 ○IT見本市の開催内容の充実やWEBサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図ることができた。 ○海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図ることができた。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
② 他の実施主体の状況 (内部要因)	R5年度に今後のリゾテックEXP0が目指すべき将来像を描いた中期的な計画である基本計画を策定したが、収支計画については、県負担金以外の新たな収入源の検討を行っていく必要がある。	④ 創意工夫による取組の改善 (合理化・効率化)	非IT企業等のサイネージ広告の活用促進や、無料提供商品の有償化など新たな収入源の拡大に向けた取組みを支援する。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	県内の全産業のDXを進めていくため、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	引き続き、IT見本市の開催内容の充実やWebサイトでの情報発信の強化を図ることで、マッチングの機会創出やDXへの機運醸成等を図る。
⑦ その他 (改善余地の検証等)	IT見本市を「国際IT見本市」としてより発展させていくためには、コロナ禍において減速していた海外からの出展や来場者を増やす必要がある。	② 連携の強化・改善	海外事務所等との連携により国外に向けた情報発信等を強化することで、海外からの出展や来場者の増加を図る。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のＤＸを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	③県内外における市場開拓の強化
			施策の小項目名	○県内IT事業者の技術力の高度化支援
主な取組	ICTビジネス高度化支援		対応する成果指標	国内外展示会等への出展企業数
施策の方向	・ 県内製造業による生産制御システムの開発や、中小企業の経営・販売・業務管理に係るソフトウェア開発、ＥＣ（電子商取引）事業者による販売サイト構築など、県内事業者の幅広い開発需要に対し、県内ＩＴ事業者が必要な技術・サービス・ソリューションを提供できるよう、技術力の高度化や異業種マッチング等により県内需要の取り込みを促進します。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R4	R5	R6
情報通信産業の稼ぐ力を強化するため、県内IT事業者が実施する高付加価値なITビジネスの開発や他産業のDXに資するデジタル技術の開発・実証等を支援することにより、産業の高度化を図る。	県	IT事業者の技術力等の強化により、高度化・新たなビジネスへの展開を促進		
		IT事業者の高度化・事業化支援件数（累計）		
		12件	12件（24件）	12件（36件）
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	ICTビジネス高度化支援事業			予算事業名	ICTビジネス高度化支援事業	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
一括交付金 (ソフト)	補助	204, 359の 一部	217, 360の一部	主な財源	実施方法	当初予算額
一括交付金 (ソフト)	補助	204, 477の一部				
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
県内IT事業者による技術高度化や事業化に向けた取組を支援した。				引き続き、県内IT事業者による技術高度化や事業化に向けた取組を支援する。		

活動指標名	IT事業者の高度化・事業化支援件数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	—	12件	14件	12件（24件）	100.0%	順調	IT事業者の取組の段階に応じたステージ（技術高度化ステージ、事業化ステージ）を設け、合計14件の支援を行った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

合計14件（技術高度化ステージ10件、事業化ステージ4件）の支援を実施し目標値に達したことから、順調とした。事業者のステージに応じた支援の実施により、ビジネスの高度化や高付加価値化に繋げることができた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
支援前に実施する事前相談において、取組の規模や企業が有する技術力を踏まえ、他企業との連携が可能か検討し、必要が認められる取組については、関連企業・団体の紹介等により連携を促進する。	事前相談の際に、企業の取組内容に応じてコンソーシアム等の企業連携の提案等を行うことで、より効果的に事業実施につなげた。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	県内企業の商品、サービスをより高付加価値化するために、県内の企業やユーザーを対象とした取組のみではなく、県外や国外の販路を拡大する取組について、掘り起こしを強化する必要がある。	② 連携の強化・改善	企業との事前相談において、県外で展開が見込まれる取組に関しては、県外事務所等と連携し、県外企業等との協働の可能性を確認する。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のＤＸを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	③県内外における市場開拓の強化
			施策の小項目名	○企業連携による共同受託開発の促進
主な取組	企業連携による共同受託開発		対応する成果指標	国内外展示会等への出展企業数
施策の方向	・ 県外から、より高度なソフトウェア開発や映像コンテンツ制作等の業務が獲得できるよう、企画力・技術力・マネジメント力の向上を支援するとともに、企業連携による共同受託開発を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内情報通信関連企業の実態調査及び企業マッチング支援に向けた保有技術等に関する調査及び仕組みの構築を行う。	県,事業者	情報関連団体との連携		
		IT企業間の連携体制の構築		
		県内IT企業の技術力の調査・分析	IT企業間の連携ビジネスの促進	IT企業間の連携ビジネスの促進
担当部課【連絡先】	商工労働部ITイノベーション推進課 【 098-866-2503 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況						(単位：千円)							
予算事業名			ITアイランド推進事業			予算事業名			ITアイランド推進事業				
主な財源		実施方法		R4年度 決算額		R5年度 決算見込額		R6年度					
県単等		委託		16,336		39,055		主な財源		実施方法		当初予算額	
県単等		直接実施		41,223									
令和5年度活動内容						令和6年度活動計画							
企業情報に関するデータベース及び公開Webシステムの構築を行うとともに、当該データベースを活用した企業マッチングの仕組みを検討した。						構築したデータベース及び公開Webシステムについて、随時、機能追加や連携方法を改善する。							

活動指標名		IT企業間の連携体制の構築		R5年度			進捗状況		活動概要						
実績値		R3年度		R4年度		実績値(A)		目標値(B)		達成割合 A/B		進捗状況		活動概要	
—		実施		実施		IT企業間の連携ビジネスの促進		100.0%		順調		企業情報に関するデータベース及び公開Webシステムのベータ版の構築を行い、当該データベースを活用した企業マッチングの仕組みを検討した。			

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

企業情報に関するデータベース及び公開Webシステムのベータ版の構築を行い、当該データベースを活用した企業マッチングの仕組みを検討した。

(2) これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
○ 県内外の企業に対し、取組の紹介等を行うとともにヒアリングを実施し、多様な企業ニーズの収集と分析を行う。	○ 県内企業に対し、取組の紹介等を行うとともに、東京等においてヒアリングを実施し、多様な企業ニーズの収集と分析を行った。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他（改善余地の検証等）	収集した企業ニーズの分析をもとに、効果的なビジネスマッチングができる環境を構築する必要がある。	② 連携の強化・改善	構築したデータベース及び公開Webシステムについて、企業間の連携や交渉がスムーズに行うことができるよう、随時、機能追加や連携方法を改善していく。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	3-(3)-ア	産業のＤＸを牽引する情報通信関連産業の高度化	施 策	③県内外における市場開拓の強化
			施策の小項目名	〇ビジネスモデルの国内外への展開
主な取組	ビジネスモデルの国内外への展開（沖縄県投資環境プロモーション事業）		対応する成果指標	国内外展示会等への出展企業数
施策の方向	・ アジアをはじめ海外向けのＩＣＴビジネスの開発や事業化に向けた県内ＩＴ事業者の実証事業等を支援するとともに、県内で開発・導入されたＩＣＴ技術・サービスやＤＸ関連ビジネスモデルを国内外にも展開できるよう民間企業等による販路拡大やプロモーション活動を促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
国内外の展示会への出展および企業誘致セミナーの開催等により沖縄の投資環境等をPRする。	県	本県の投資環境等をPRするプロモーション活動の展開		
		展示会等の実施数(累計)		
		4回	4回(8回)	4回(12回)
担当部課【連絡先】	商工労働部企業立地推進課	【 098-866-2770 】	関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)		
予算事業名	沖縄県投資環境プロモーション事業				予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額		R6年度		
					主な財源	実施方法	
一括交付金 (ソフト)	委託	44,911	41,417		—	—	
令和5年度活動内容					令和6年度活動計画		
展示会出展2回（国内1回、国外1回）を実施した。					展示会出展3回（国内2回、国外1回）を実施予定。		

活動指標名	展示会等の実施数（累計）		R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
	2回	4回	2回	4回（8回）	50.0%	大幅遅れ	Japan IT WEEK秋（国内展示会）の他、台湾で開催されたInnoVEXへの出展を通じて沖縄県における投資環境のPRを実施した。

様式 1 （主な取組）

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
これまでの継続した取組により情報通信関連企業 501 社（令和3 年度末時点）、臨空・臨港型産業関連企業 251 社（令和3 年度末時点）の立地につながっている。 なお、当該年度については展示会出展以降に県内・外で実施しているセミナー・視察ツアーへの企業誘導に重点を置き、展示会出展 4 回→2 回、セミナー・視察ツアー 3 回→6 回への事業計画の一部見直しを図った。	
(2)これまでの改善案の反映状況	
令和5年度の取組改善案	反映状況
引き続き、沖縄ITイノベーション戦略センターをはじめとする関係団体と連携し、ResorTech EXP0等の各種施策と連動したプロモーションを展開する。	沖縄ITイノベーション戦略センター、県内市町村、立地企業と連携し展示会に出展し、沖縄県における投資環境のPRを行った。 ブース出展の集客に関してはSNS・WEB広告にて事前告知を行い、会期中はSNSにブースの状況を掲載するなどしオンラインでのPRを行った。

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	県内企業のDXの底上げや新ビジネスにつながる取組を展開する企業の誘致を行い、県内企業との連携・共創を促進するため、引き続き効果的かつきめ細やかなプロモーション活動を行う必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	沖縄ITイノベーション戦略センター、県内市町村、県内教育研究機関、立地企業等と連携し、効果的なプロモーションを実施するため、ResorTechEXP0等の施策と連動させたイベント出展等を行う。